

土木被害関係等報告

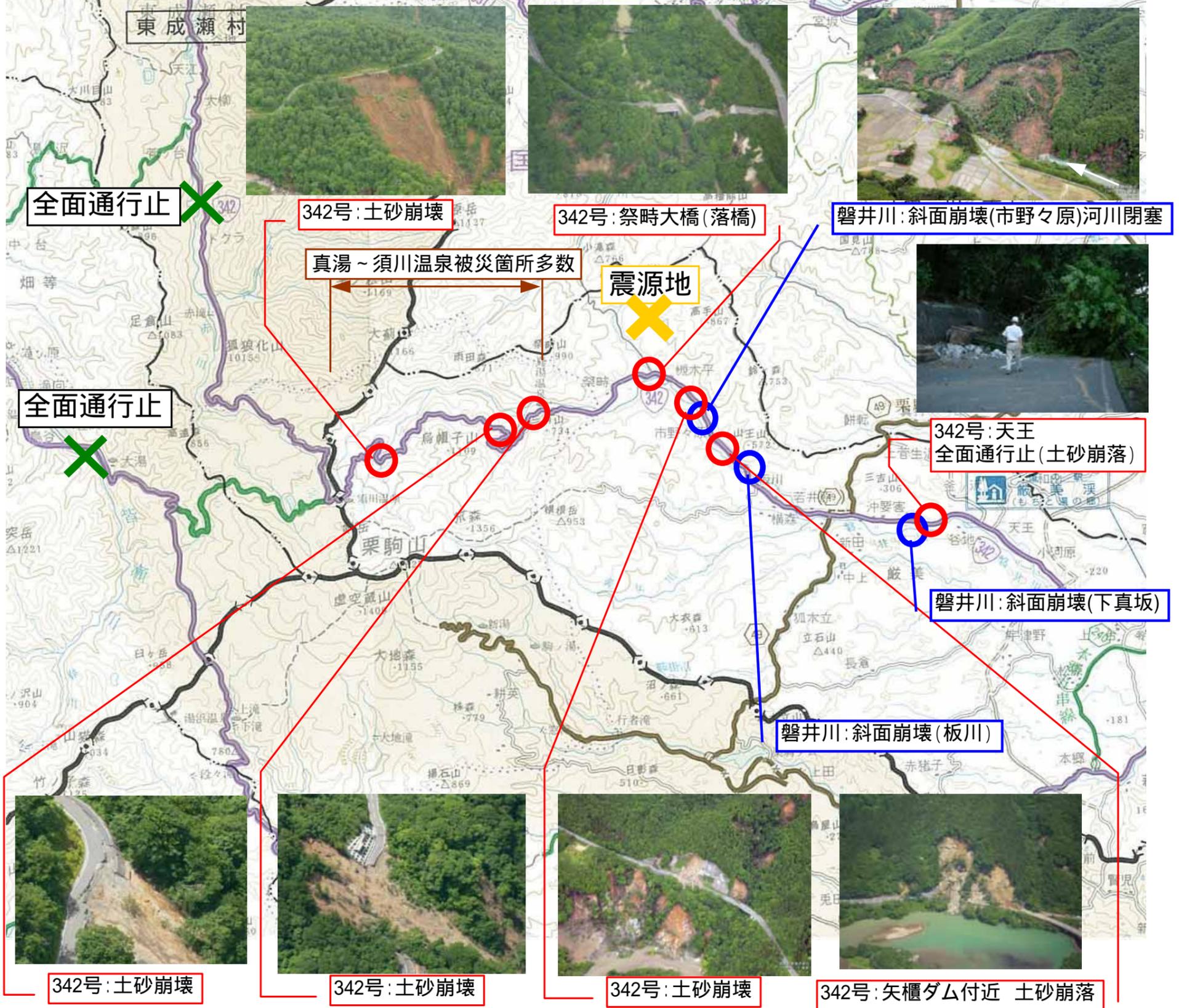
県土整備部
平成20年6月16日17:00現在

施設区分	6月16日17:00現在
道路	<p>全面通行止め 5路線8区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道342号:一関市巖美町天王～秋田県境(土砂崩落、落橋-祭時大橋) ・国道397号:奥州市胆沢区若柳字市野々～秋田県境(法面崩壊) ・主要地方道花巻衣川線:奥州市衣川区大平(法面崩壊) ・主要地方道栗駒衣川線:奥州市衣川区餅転橋(路面損傷) ・一般県道衣川水沢線:奥州市胆沢区大袋(路面陥没) ・主要地方道花巻衣川線:奥州市胆沢区下鹿合(路面損傷) ・主要地方道花巻衣川線:奥州市衣川区小田(路面損傷) ・主要地方道栗駒衣川線:奥州市衣川区楢原新橋(路面陥没) <p>片側交互通行 3路線3区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道107号:西和賀町ゆた高原駅付近(路面沈下) ・一般県道夏油温泉江釣子線北上市和賀町内鱒沢(法面崩壊) ・主要地方道花巻衣川線:金ヶ崎町永栄中山(路面損傷)
河川	<p>県管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胆沢川(五松林橋上流左岸):堤防天端にクラック有り。L=50m、W=1.5cm、深さ15cm。 ・盤井川:斜面崩壊により河道内に土砂流入(2箇所)。2箇所とも水位の上昇がみられないことを確認。 ・久保川:小規模な土砂崩落があり、堤防に一部クラック発生。 ・尿前川(しとまえがわ):斜面崩落2箇所確認。 <p>県管理外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣川支川有浦沢川(上衣川有浦地区):土砂崩落により河川閉塞。(L=30m、W=3-4m) ・仮排水路を設置済。(奥州市管理普通河川) ・盤井川上流に斜面崩壊4箇所を確認。そのうち市野々原地区については、河川閉塞し、水位の上昇を確認。県が国土交通省に16日10時に要請(応急排水対策及び河道内の土砂撤去等) - 市野々原地区は、県管理河川から県管理外に変更
砂防	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での砂防えん堤の被害報告なし。(現在調査中) ・衣川地区で地すべりの報告を受けて調査予定。 ・TEC-FORCE、砂防ボランティア、県の合計61名が、土砂災害の危険箇所を緊急点検。箇所数は92箇所。
住宅	<p>一般住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震度5弱以上の市町(一関市・奥州市・遠野市・北上市・西和賀町・藤沢町・平泉町・金ヶ崎町)において、柱や梁など構造に関する被害は少なかった。 ・15日14時30分に県庁に、被災建築物応急危険度判定支援本部を設置した。 ・一関市:15日に巖美町市野々原地区において、被災建築物応急危険度判定のための先遣隊6名(県2名、市4名)による調査を実施した。 ・16日9時30分に県に対し被災建築物応急危険度判定士の派遣要請があった。 ・16日に市野々原地区の一部及び祭時地区において、被災建築物応急危険度判定のための先遣隊4名(市職員4名(2班体制))による調査を実施中。 ・17日には市野々原地区、祭時地区を含む巖美町地区について、被災建築物応急危険度判定活動を行うべく、県、市で準備中。体制:4班8名(県2名、盛岡市2名、北上市1名、花巻市1名、一関市2名) <p>奥州市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15日14時に県に対し被災建築物応急危険度判定士の派遣要請があった。 ・16日9:00から県職員2名と奥州市職員4名の計6名(2班体制)により、胆沢区、衣川区において被災建築物応急危険度判定活動を実施中。 <p>西和賀町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16日10時40分に県に対し被災建築物応急危険度判定の支援要請があった。 ・16日11:00に県職員3名(1班体制)を現地に派遣し、川尻地区、白木野地区において13時30分より被災建築物応急危険度判定活動を実施。15時30分に判定活動を終了。 ・16日の判定結果:要注意2件 <p>応急仮設住宅等被災者のための住宅対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥州市:15日19時30分時点 - 応急仮設住宅の建設の必要無。 ・一関市:16日15時時点 - 応急仮設住宅の建設の必要無。 ・一関市から、被災者が希望する場合の県営住宅への入居について県に要請があった。 <p>宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災宅地危険度判定(被災宅地危険度判定資格を持つ被災建築物応急危険度判定士が被災建築物応急危険度判定活動に併せて宅地判定を行うもの。) ・一関市:17日に県1名及び市3名の計4名の職員で行うことと準備中。 ・奥州市:現在、奥州市からの派遣要請はないが、今後の調査等により必要が生じた場合は対応したい。
[参考] 秋田県	<p>通行止め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道397号:ジュネス栗駒～岩手県境(亀裂) ・国道342号:松山台～岩手県境(段差)

国・市町村の情報は、当部で把握しているもののみ掲載

県土整備部関係 被災状況(国道342号・磐井川)

6月16日 17:00作成



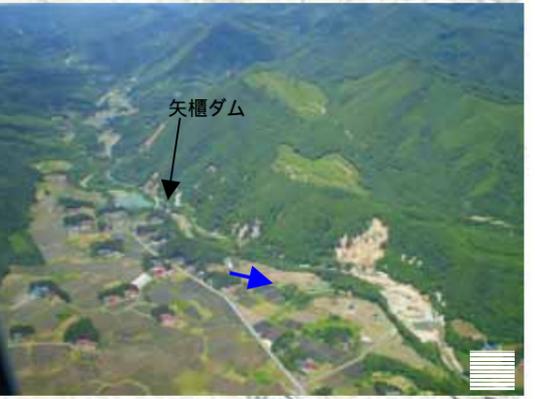
国道342号
真湯~須川温泉間
被災状況



一級河川磐井川 被災状況(6月14日岩手・宮城内陸地震)

平成20年6月16日 7:00 現在

大東
成瀬
日瀬
村



磐井川市野々原地区 河道閉塞状況写真

6 / 14 状況



6 / 15 状況

